



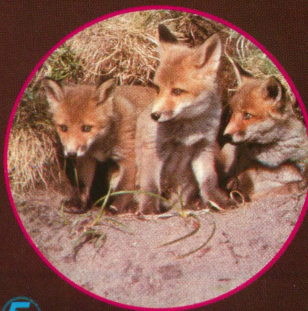
わたしのフレッツ、
離ればなれになっても、
どうかレイラの
愛を忘れないで

THE FOX
IN THE QUEST OF THE NORTHERN OUN

製作期間4年/5億円の巨費を投じて、雄大な北国の四季につづる愛と感動のニュー・ドラマ!

ファンタジー・ワールド

キタキツネ物語



カラー作品/4ch超ステレオ音響/サンリオ・フィルム作品/東宝東和〈創立50周年記念〉作品



7月15日^全日^休み^ロード^ショー

日比谷映画 (591) 5353

*お得な特別鑑賞券1000円〈一般1300円/学生1100円の処〉発売中!

《エゾアカゲラ》
いつも働きもののウツドベッカー。トカツブやヌブリが木の下のまわいでいても知らん顔。木に穴をあけてカタカタカタ……。

《タンチョウヅル》
凍った沼池に舞い降りて優雅に冬を過ごす。子供達のためにエサをもとめて走り回るフレップとレイラは目もくれない。ツンとすましたスタイリスト。

●キタキツネって何だろう？

童話や民話に必ず1度は登場するキツネ。でも、その生活ぶりはあまり知られていません。特にこの映画の主人公であるキタキツネには謎の部分が多いのです。胴長60cm、聴覚が鋭く、食物も小動物から植物まで幅広く食べます。特異な性質として、2月の結婚期になると「歓喜の舞い」でフコボースをし、また4カ月程で成長する子供は「子別れ」の儀式で巣立つのです。でもその生存率は10%以下で、現在絶滅の危機に瀕している動物なのです。

●愛と感動がいっぱい！

●夢の世界《ファンタジー・ワールド》！

この映画は北国の雄大な四季の中、キタキツネ家族が次々と出逢う危険や外敵と闘いながら、やがて子供達が巣立つてゆくまでを様々なエピソードで詳情豊かにつつつてゆきます。ここに「歓喜の舞い」、子供達に獲物の取り方などを教える「実習旅行」、そして「子別れ」の儀式など、愛と涙に彩られた物語はヒューマンな感動を呼び起します。

製作はアカデミー賞に輝く、愛のフアンミラーを手がけ、映画界に新風を送るサンリオ・フィルム。4年の歳月と5億円の巨費を投入。零下30度の酷暑の中で撮影を敢行、美しい映像と音楽、そして夢のように素敵な物語を作りあげま

●監督・脚本に「雨のアムステルダム」の蔵原惟繕。原案は高橋健、動物監督にキタキツネの研究で知られる竹田津実があたりました。そして音楽監督に「幸福の黄色いハンカチ」の佐藤勝。ボーカルはロック界の旗手ゴダイゴ、元スリーパーの町田義人、朱里エイコ。岡田英次がナレーションを担当します。

●フレップとレイラ——愛の出会い《冬》

ここは北の果て。海は流水に覆れ、フリザート（地吹雪）が荒れ狂う。流水にのってフレップがやって来たのはそんな日でした。彼は丘の上に、美しいレイラを見つけた。冬はキタキツネの放浪と愛の季節なのです。やがて、柏の木が見守る中、愛のセレモニー「歓喜の舞い」が美しく美しくくり広げられ、フレップとレイラは結ばれたのです。

●愛の結晶！かわいい赤ちゃんが誕生《春》

小川の雪が解け、小鳥が春の歌を合唱する頃、レイラは5匹の子供達の母となり、フレップとレイラは幸福をかみしめるのでした。5匹の中で1番元気のトカツブ、弱虫のレブン、おどけ者のヌブリ、生まれつき目の悪いチニタ。そんなキタキツネ達を柏の木は孫を見るおじいさんのように見守っています。ところが、ある日悲しい出来事が起こりました

●ママ！死なないで！《夏》

梅雨——獲物がなく空腹を訴える子供達の声に、フレップは意を決して牧場のニワトリ小屋を襲いました。でも、後を追ったレイラは民のトラバサミに足を傷つけられてしまったのです。助けを求めたレイラ。襲いかかるアイヌ犬を前に、フレップは自分をおとりにしてレイラを逃します。彼女は柏の木まで逃げて来ましたが深手を負っていました。彼女は薄れゆく意識の中で思い出していました。愛するフレップ、子供達、楽しかった日々を……。死んじやいやだ！ママ、子供達の願いもむなし、その日レイラは柏の木の下で眠るように息を引きとったのです。

●別れの季節がやって来た！《秋》

レイラが死んでからフレップの表情は一段とさびしくなりました。子供達を早く一人前にしなくては……。秋は「実習旅行」と、親子の絆を切り、子供達が旅立つ「子別れ」の儀式が待っているのです……。

●話題をさらうこの映画のアーチストたち！

美しい映像とともに話題を集めているのが、全篇を彩るナンバーの数々。作曲は佐藤勝とタケカワヒテユキ。フレップの歌を「白い珊瑚礁」のスリーパーのボーカル町田義人。レイラを朱里エイコ、子供達を「僕のサラタガール」の大ヒットでデビューし、いま人気、実力とも口ツツ界のNo.1ゴダイゴが歌うという超豪華版です。ミュージカルをも超えた全く新しい感動、映像と音楽が織りなす新鮮な衝撃に、あなたも酔ってみませんか。

《エゾモモンガ》

フレップ一家をからかうように、頭の上をヒューと飛んでいく。いつも見上げるだけだから、仲良しになれない。夏と冬では衣替えをします。

《ホオアカ》

いつも低い木にとまってさえずっている。いつもフレップやレイラに追いかけられる。だから冬になると南に行ってしまうホオジロ科の小鳥。

THE FOX IN THE QUEST OF THE NORTHERN SUN

キタキツネ物語

監督・脚本・蔵原惟繕／製作・辻信太郎／企画・竹田津実・高橋健／音楽監督・佐藤勝／ボーカル・町田義人・朱里エイコ・ゴダイゴ／ナレーター・岡田英次

